



答える茂木会長(26日、東京の日本記者クラブで)

茂木会長は、食と農林一部長(菅直人首相)が開
漁業の再生推進本部(本)く有識者会議に参加す

J A 全中の茂木守会長は26日、東京都千代田区の日本記者クラブで会
見し、関税の全廃を原則とする環太平洋経済連携協定(TPP)につい
て、「国内対策で農業者の所得が補償されても、農産物の輸入増加を抑え
ることはできず、国内生産が崩壊する」と述べ、TPPと農業振興は「両
立できない」と力説した。また、国内農業対策は、貿易自由化に対する代
償措置ではなく、食料自給率50%の達成といった政府目標を実現する政
策として検討すべきとの認識を強調した。

(2面に関連記事)

TPP 農業と両立できぬ 全中会長 見「国内生産が崩壊」

国土や自然環境の保全
など農業の多面的機能に
ついては「国民共有の財
産であり、一度失われれ
ば、簡単に回復できな
い」と述べ、「多面的機能
より貿易拡大を優先する
のは十分な時間を掛け
て議論し判断すべきだ」
と訴えた。

このほか会見で、J A
全中の富士重夫事務が、
TPPに仮に参加した場
合の影響試算を、J A グ
ループとして独自に行う
考えを示した。

また、TPPに参加す
るには、金融、保険、公
共事業など、幅広い分野
の規制改革が必要である
ことを指摘。「国の仕組
みや基準が一変しかねな
い極めて大きな問題を
はらんでいる」と提起し
た。

農家裏切る行為

九州沖縄農協
熊本で緊急集会 600人反対訴え

「くまもと」に「価格ある
国家づくりに日本の食と
農を守る」食料自給
率向上とTPP参加は両
立しないぞ!九州
沖縄地区農協青年組織
連絡協議会は26日、TP
Pに反対する緊急集会を

前川信男委員長は「仮
に政府がTPP参加を判
断すれば、『多様な農業
の安全・



きょうの紙面

6 ミカン食べてね

12月3日の「みかんの日」
を前に、みかんマイスターの
タレント、関根麻里さんが東
京都内で親子にミカンを配
り、消費拡大をPRした。



2 米政策を徹底討論

NiNo 7~10

静岡文化芸術大の熊倉功
夫学長は一汁三菜が基本。

テレビ11面

日本農業新聞 e 農 net
<http://www.agrinews.co.jp/>

読者相談室 03 (5295) 7403
(10~18時、日祝日除く)

購読のお申し込みは、お近くの
J A、または申し込みセンターへ
☎(0120) 101630

おはよう

名歌と名句

<1488>

わが柩まもる人なく行く野辺のさび
つ霞たなびく
(山川登美子『恋
一首。』

かなしい作品だ。山川登美子
は胸を患った。当時では死の病
である結核である。まもなく自
分はこの世から姿を消さざるを
得ない。その時、野辺送りはい
ったいどのようなものだろう
か。死後の風景を想像している
漂わせている。

神奈川

情報は最寄りの
JA(農協)か
JA県連広報局へ
.....
平塚市高根141
(県農協教育センタ
一本館内)
(電)0463(26)8751

おにぎりで満足

で、おにぎりだけを弁当として持参する。全力で運動する園児はおにぎりをばくばくとほお張る。おかずがないから食べられないという園児は一人もないという。

【よこすか葉山】おにぎりっておいしいね——。横須賀市津久井の私立津久井幼稚園が実践する米を大切に作る食育が好評だ。「Noおかずday」と名付けた活動

週3回 No おかず day



昼食で持参したおにぎりをほお張る園児

横須賀市の津久井幼稚園のご飯人気上昇

きっかけは、3年前に開いた管理栄養士の幕内秀夫氏を招いた講演会だった。

参加した400人以上

の保護者を前に幕内氏は

「栄養バランスという言

葉に悩まされている。子

どもはご飯で丈夫に育

つ。油を多用したくさ

んのおかずは必要ない」

ときっぱり。余郷有聡園長の「おにぎりだけの弁当の日」をつくることの呼び掛けに保護者が賛同した。

「Noおかずday」

は週3回。「食べやすい」

「おいしい」「残さず」

に食べられる」「キャラ弁

に惑わされることがない

とご飯食に対する意

識が高まり、保護者の要望で今まで週1回だった回数を増やした。

余郷園長は「母乳、重

湯、離乳食、おかゆの次

にくるのはお子さまラン

チではない。子どもに必

要なのは米。子どもの時

に食べたにおいや味は大

種を手掛けている。栽培方 高梨さんは手もみ茶にも

法や製造工程など、作業に こだわりを見せる。4月に

直売所繁盛願いの
つるしびな贈る
JAさがみさわ
やか倶楽部など
【さがみ】JAさがみ

さわやか倶楽部(くら
ぶ)藤沢地区の井上利子
部長と同「ひなの会」の
佐藤美智子代表がこのほ
ど、JA役員に手作りの
つるしびなを贈った。約

250
「12月
市藤
願い
と、役
したい

柿おいしいよ 行楽客に配布

JAいせはら

【伊勢原】JAいせはら果樹部会は23日、小田急電鉄(株)に協力し、伊勢原市の大山阿夫利神社で、伊勢原駅に臨時停車したロマンスカー「メトロもみじ号」で訪れた行楽客に特産の柿を配布。よい食プロジェクトもアピールし、地場農産物の消費拡大を訴えた。

有」とよい食プロジェクトのちらしを一緒に配った。神社の境内では地元舞われ



消費者団体農を

JA県中央会 懇談会、視察

【相模原】JA県中央会と県消費者団体連絡会はこのほど、JA相模原市管内でかながわ「食」の畑や加工所を視察。生

産者とを深め、同市工、直子さん、岡友美、農業経



小俣さんの加工所で話を聞く消費者代表

共 県

【西】

共進会

間、県

て開か

果、小

さんが

臣賞に

今年

の茶園

業技術

茶業セ

の管理

くチェ

その

おにぎりで満足

で、おにぎりだけを弁当として持参する。全力で運動する園児はおにぎりをばくばくとほお張る。おかずがないから食べられないという園児は一人もないという。

【よこすか葉山】おにぎりっておいしいね——。横須賀市津久井の私立津久井幼稚園が実践する米を大切にする食育が好評だ。「No おかず day」と名付けた活動

週3回 No おかず day



昼食で持参したおにぎりをほお張る園児

横須賀市の 津久井幼稚園 でご飯人気上昇

きっかけは、3年前に開いた管理栄養士の幕内秀夫氏を招いた講演会だった。

参加した400人以上の保護者を前に幕内氏は「栄養バランスという言葉に悩まされている。子どもはご飯で丈夫に育つ。油を多用したたくさんのおかずは必要ない」

ときっぱり。余郷有聡園長の「おにぎりだけの弁当の日」をつくるうとの呼び掛けに保護者が賛同した。

「No おかず day」は週3回。「食べやすい」「おいしい」「残さずに食べられる」「キャラ弁に感わされることが多い」とご飯食に対する意

識が高まり、保護者の要望で今まで週1回だった回数を増やした。

余郷園長は「母乳、重湯、離乳食、おかゆの次にくるのはお子さまランチではない。子どもに必要なのは米。子どもの時に食べたにおいや味は大人になっても忘れない」と力を込める。